

ちょっとドラゴンランスガイド(1/3)

D&Dドラゴンランス 竜女王の暗き翼
の世界観をちょっと解説。
(解説は mifa 私見が入ってるかもw)



①世界

ドラゴンランスの世界はフォーゴトンレルムとは異なる世界クリンのアンサロン大陸が舞台である。



②歴史

a. 星誕の時代: 神代の時代、伝説や聖典で語られる。

b. 夢の時代: 英雄が出現し、悪の軍勢と戦いを繰り広げる。

ソラムニア騎士団、上位魔法の塔、ドワーフ王国トルバルディンが組織される。

第三次ドラゴン戦争: 竜殺しの騎士”ヒューマ”に竜槍が与えられ、侵攻してきた
竜の女王”邪神タキス”を打倒し、軍勢をクリンから追放する。
同時に善の竜たちもこの世界から姿を消す。

ちよこっとドラゴンランスガイド(2/3)

c.力の時代:人の国家が栄え、善の名の元に大陸東部の都市”イスタル”が数世紀をかけて
広大な地域を征服していった。しかしこれが世界の崩壊のきっかけとなる。

驕れる帝国:イスタルの支配者である神官王は帝国が繁栄するにつれ、自分たちこそが
世界の中心であると主張し、彼らの意に沿わない行動、人、思想を弾圧し始める。
そして最後の神官王は魔法的偉業をいくつも成し遂げ、さらにクリンを永遠に
支配するため、神性を獲得する儀式を開始した。

神々の警告:儀式はクリンの崩壊を引き起こすため、全ての神はそろって人々に警告を
送った。神々は”13の予兆”を引き起こし警告としたが帝国はこれを悪の仕業
と断じ、儀式の準備を進めた。

大変動:神々は信仰に厚い人々を帝国から立ち去らせ、帝国に神罰を実施した。
神罰による天変地異(噴火、地殻変動、津波)で帝国は滅亡した。
(現在、イスタルの鮮血海とよばれる地域である。)
そして神々はこの世界から消え去り、同時に神々の祝福も喪失、
やがて神々の名前さえ、ほとんど忘れ去られた。

d.暗黒の時代:文化や環境は劇的に変化し、飢餓や疫病が引き起こされた。
再び民衆を導き、まとめあげる可能性があったソラムニア騎士団はイスタルと
同盟を組んでいたため、迫害を受け、ちりじりとなった。
エルフ諸国は国境を封鎖して閉じこもった。トルバルディンのドワーフも
地下道の奥深くに籠り、難民(同族のドワーフさえも)の受け入れを拒否した。
ホブゴブリンとオーガが勢力をまし、生き残った多くの人々が闇の中で道を
失っていた。

そして現在へ:大変動から3世紀半ほどの年月が流れた。
依然多くのエルフとトルバルディンのドワーフは隠匿を続けているが、
他の文化は少しずつ回復していくのだった。

e.竜の女王の帰還:そんな中、竜の女王がこの世界に帰還する。十全な力を行使できていない
彼女ではあるが女王を信仰する竜の軍勢を率いて侵攻を開始するのであった。

③クリン独自の設定

a.失われた信仰と祝福

神々が去ったため、一般の人々からは古き信仰と祝福は失われている。
それでも何かに頼りたかった人々には偽りの新興宗教がはびこっている。
(当然神なき宗教には祝福や奇跡を起こす力はない)

しかし、真の神々を信仰する者が完全にいなくなったわけではない。

- ・信仰が厚く神々から避難を指示された者の一部は残された神殿で
今も信仰を続けている。
- ・ドルイドとその共同体は昔ながらの方法で祈りを捧げている。
- ・ちりじりになったソラムニア騎士団は掟と典範を今でも守り続け
神々を守護神として信仰している。

※ただし神々は祝福や奇跡を与えていない。祈りを捧げても神の声
は聞こえない。神聖系呪文の使い手はプロローグのイベントにより
神々の声(祝福/奇跡)が聞こえるようになる。



b.種族:ケンダー

ノームの一部が制御されざる魔法の影響を受けて変化した種族。
ヒューマンに似ているが小柄で尖った耳を持つ種族。

性格的には

- ・超自然的な好奇心を持ち、恐いもの知らずである。
(知りたがりで、知るためには危険を考慮しない)
- ・コレクション癖があり、人のものでも悪気なくしまいこむ。



ちょっとドラゴンランスガイド(3/3)

c.国:トルバルディン

ドワーフの王国は何千年もの間、大陸南西部のカロリス山脈の地下に存在している。大変動後は、よそ者に対して門を閉じた。これには大変動以前、王国から地表に出て行った同胞のドワーフも含まれていたのである。門を閉ざせられた地表のドワーフと難民は同盟を組んで王国に攻め込んだが撃退された。(これをドワーフゲート戦争という。)



d.組織:ソラムニア騎士団

ソラム騎士団は数多の英雄を輩出してきた誇り高い騎士団である。しかし、大変動後は大変動を止めなかったことを民衆から責められ衰退している。構成はファイター、パラディンがほとんどだが、クレリック、バード、バーバリアンが少数だが存在する。

- ・冠勲爵騎士団:自然界の均衡を監視する善神”ハバクク”を信仰する騎士団。
- ・剣勲爵騎士団:名誉を重んじる正しき神”キリ=ジョリス”を信仰する騎士団。
- ・薔薇勲爵騎士団:善の父、法の主である神”パラダイン”を信仰する騎士団。この騎士団に入団するには冠勲爵騎士団で従者を勤め、剣勲爵騎士団から昇進する必要がある。



e.組織:上位魔法の塔

上位魔法の塔は歴史ある由緒正しい魔法組織である。構成はウィザードがほとんどだが、ソーサラーやウォーロックも少数存在する。創設時には5つの塔があったが、大変動で3つの塔が失われ、それ以降さらに1つの塔が失われ、現在は1つの塔のみが残っている。一人前の魔道士となるには”大審問”と言われる命がけの試練に合格しなければならない。(ちなみに追放されたものや大審問に不合格で生きながらえた者は”異端の魔道士”と呼ばれ迫害の対象となる。)魔道士は信仰する月によって以下の3種に分けられる。



- ・白ローブの魔道士団:白き月の化身である善神”ソリナリ”を崇める魔道士団。世界をより良くするために魔法を行使する。
- ・赤ローブの魔道士団:紅き月の化身である中立神”ルニタリ”を崇める魔道士団。世界の均衡を保つため魔法を行使する。
- ・黒ローブの魔道士団:黒き月の化身である悪神”ヌイタリ”を崇める魔道士団。己の野望を推進し、非難と恐怖を集める。